

## 教育 おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(401)

### ◆大崎町教育振興懇談会を開催しました

2月25日(水)に町中央公民館において、『大崎町教育振興懇談会』を開催しました。副町長、町議会議員、町議会議員、公民分館長、学校職員、学校PTA、教育委員など38名の出席により、学校を中心とした家庭、地域、企業などの連携の在り方などについて活発な意見交換がなされました。



### ◆学校教育相談を受け付けています

町教育委員会では、いじめや不登校など、子どもの教育上のさまざまな悩みについて、相談に応じています。経験豊かな教育相談員が、悩みの問題解消のため、いっしょに考えたり、アドバイスを行ったりしています。お気軽に電話(☎476-1111 内線404)もしくはメール(本町ホームページから送信できます。)にてご相談ください。

## まじの窓おしの庭

もと  
本を忘れず

NO.29 大崎町PTA連絡協議会 会長 新小倉 龍一

15年間のPTA会員生活の最後の投稿の機会を頂き感謝です。今春、三番目が大崎町を巣立っていくわけですが、子育てを通じてたくさんのことを学ぶことができました。現在の子どもたちを取り巻く環境は日々変化しています。SNS(スマートフォン・オンラインゲームなど)の普及で、親が勉強しなければ対処もできません。これからはいろいろな時期、場所、機会に情報を発信する必要があると思います。

最近、強く思うことがあります。親が子育てに悩みながら必死に楽しく頑張っている姿を見て、『子の親である前に、親の子である』ということを実感する必要があるのではないかと・・・。

ある研修会でお世話になった方に感謝の思いを馳せる時間がありました。私は22年前に54歳で他界した父親のことを思いました。これまでも父親のことを思う時がありましたが、いつも50歳代の父親でした。しかし思いを深くしていくうちに、親父にも子ども(小学生や中学生)の頃、高校生で母と恋愛していた頃、子どもを授かったときや母を亡くしたときなどあったということを・・・私自身も妻や子どもを持ちとても愛おしく思っていますが、父親も同じ思いだったのではないかと、祖父は31歳で戦死しましたが、愛しい妻と2歳の親父を残して・・・どんな思いだったのか。涙があふれる体験をしました。親として我が子に愛情を注ぐ前に、子どもとして無償の愛を注いでくれた両親にまず感謝する事から始めるべきだと。

子どもたちは曇りなき眼で親を見ています。『子は親の鏡』とも言われています。子どもを教育しよう、変えようとする前に自らが変わることで良い子育て(結果)ができるのではないのでしょうか。子どもをしっかりと見守り親が正していく、子どもたちは親の心(行動)を表しているだけです。子どもに問題があったときには責めるのではなく、親自らが気付く時ではないのでしょうか。(子どもは悪くない。必死にメッセージを送っているだけ)夫婦が仲むつまじく過ごすことが大切だと思います。これからも妻とともに益々子育てを楽しみたいと思います。感謝!!